

平成24年 医師会立
助産師・看護師・准看護師学校養成所
調査

平成24年9月実施
社団法人 日本医師会

目次

調査概要	1
平成24年 調査結果の概要	
<1> 平成24年度入学状況	2
<2> 平成23年度卒業状況	6
入学状況の経年変化	
I 学校数の推移	8
II 入学状況の推移	9
III 倍率の推移	13
IV 入学率の推移	14
V 定員充足率の推移	15
VI 男子生徒率の推移	16
VII 医療機関就労生徒率の推移	17
VIII 最終学歴の推移	18
IX 卒業後の進路	21
まとめ	22

調査概要

調査目的

医師会立助産師・看護師・准看護師学校養成所における入学・卒業状況及び運営状況等の実態の把握

調査概要

調査方法	質問紙郵送法
調査対象	医師会立助産師・看護師・准看護師学校養成所
調査地域	全国
有効サンプル数	361校（*各年ごとに入学者もしくは卒業者のあった学校養成所を調査対象としている）
調査実施時期	平成24年9月
調査内容	医師会立助産師・看護師・准看護師学校養成所における入学・卒業状況及び運営状況等

学校養成所数

○准看護師課程	196 校			
	*24年度募集停止	4 校	計	200 校
○看護師2年課程	82 校			
	*24年度募集停止	1 校	計	83 校
○看護師3年課程	63 校			
○助産師課程	6 校			

平成24年度 調査結果の概要

<1>平成24年度入学状況

1. 各項目の総数

(人)

	定員	応募者	受験者	合格者	入学者
准看護師課程	9,516	27,392	26,104	10,348	9,393
（うち男子）		(7,313)	(6,978)	(2,047)	(1,866)
看護師2年課程	3,752	5,166	5,051	3,841	3,571
（うち男子）		(1,274)	(1,229)	(843)	(773)
看護師3年課程	3,097	13,969	13,181	4,001	3,172
（うち男子）		(3,038)	(2,885)	(546)	(453)
助産師課程	135	413	393	152	129

(人)

	入学者の最終学歴						医療機関 就労生徒
	中卒		高校新卒	高校既卒	短大卒	大卒	
		高校中退					
准看護師課程	384	230	2,704	4,487	885	933	5,181
（うち男子）	(52)	(33)	(479)	(917)	(49)	(369)	
入学者に占める割合	4.1%	2.4%	28.8%	47.8%	9.4%	9.9%	55.2%
看護師2年課程	39	13	219	2,717	296	300	-
（うち男子）	(5)	(4)	(33)	(579)	(29)	(127)	-
入学者に占める割合	1.1%	0.4%	6.1%	76.1%	8.3%	8.4%	-
看護師3年課程	0	0	1,962	666	181	363	-
（うち男子）	(0)	(0)	(211)	(133)	(8)	(101)	-
入学者に占める割合	0.0%	0.0%	61.9%	21.0%	5.7%	11.4%	-
助産師課程	0	0	1	96	15	17	-
入学者に占める割合	0.0%	0.0%	0.8%	74.4%	11.6%	13.2%	-

※1 「医療機関就労生徒」とは、新入生のうち医療機関で働きながら学ぶ生徒、あるいは医療機関で働きながら学ぶことを希望する生徒を指す。

※2 他の専門学校卒業生は「高校既卒」として集計した。

平成24年度 調査結果の概要

2. 倍率(応募者/定員)

(学校数)

	准看護師課程		看護師2年課程		看護師3年課程		助産師課程	
0.8倍未満	0	(0.0%)	3	(3.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
1.0倍未満	1	(0.5%)	8	(9.8%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
1.2倍未満	1	(0.5%)	14	(17.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
1.5倍未満	5	(2.6%)	24	(29.3%)	0	(0.0%)	1	(16.7%)
2.0倍未満	31	(15.8%)	29	(35.4%)	1	(1.6%)	2	(33.3%)
2.5倍未満	45	(23.0%)	4	(4.9%)	6	(9.5%)	0	(0.0%)
3.0倍未満	38	(19.4%)	0	(0.0%)	5	(7.9%)	1	(16.7%)
4.0倍未満	35	(17.9%)	0	(0.0%)	17	(27.0%)	0	(0.0%)
5.0倍未満	26	(13.3%)	0	(0.0%)	15	(23.8%)	2	(33.3%)
6.0倍未満	10	(5.1%)	0	(0.0%)	10	(15.9%)	0	(0.0%)
6.0倍以上	4	(2.0%)	0	(0.0%)	9	(14.3%)	0	(0.0%)
合計	196	(100.0%)	82	(100.0%)	63	(100.0%)	6	(100.0%)
最高倍率	6.8 倍		2.4 倍		10.6 倍		4.6 倍	
最低倍率	0.8 倍		0.4 倍		1.8 倍		1.3 倍	
平均	3.0 倍		1.4 倍		4.4 倍		2.8 倍	

3. 入学率(入学者/合格者)

(学校数)

	准看護師課程		看護師2年課程		看護師3年課程		助産師課程	
50%未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
60%未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(4.8%)	0	(0.0%)
70%未満	9	(4.6%)	1	(1.3%)	7	(11.1%)	0	(0.0%)
80%未満	13	(6.6%)	4	(5.0%)	20	(31.7%)	2	(33.3%)
90%未満	57	(29.1%)	14	(17.5%)	21	(33.3%)	1	(16.7%)
100%未満	68	(34.7%)	34	(42.5%)	7	(11.1%)	1	(16.7%)
100%	49	(25.0%)	27	(33.8%)	5	(7.9%)	2	(33.3%)
合計	196	(100.0%)	80	(100.0%)	63	(100.0%)	6	(100.0%)
最高率	100.0 %		100.0 %		100.0 %		100.0 %	
最低率	64.3 %		60.6 %		51.3 %		72.0 %	
平均	90.9 %		94.0 %		80.1 %		88.1 %	

平成24年度 調査結果の概要

4. 定員充足率(入学者/定員)

(学校数)

	准看護師課程		看護師2年課程		看護師3年課程		助産師課程	
50%未満	1	(0.5%)	1	(1.2%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
60%未満	2	(1.0%)	1	(1.2%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
70%未満	7	(3.6%)	5	(6.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
80%未満	2	(1.0%)	3	(3.7%)	1	(1.6%)	0	(0.0%)
90%未満	7	(3.6%)	5	(6.1%)	0	(0.0%)	1	(16.7%)
100%未満	36	(18.4%)	13	(15.9%)	11	(17.5%)	2	(33.3%)
100%	41	(20.9%)	25	(30.5%)	16	(25.4%)	3	(50.0%)
100%以上	100	(51.0%)	29	(35.4%)	35	(55.6%)	0	(0.0%)
合計	196	(100.0%)	82	(100.0%)	63	(100.0%)	6	(100.0%)
最高率	126.7 %		115.0 %		115.0 %		100.0 %	
最低率	45.0 %		0.0 %		77.5 %		86.7 %	
平均	100.5 %		95.8 %		102.6 %		94.4 %	

5. 男子生徒率(男子生徒数/入学者)

(学校数)

	准看護師課程		看護師2年課程		看護師3年課程		助産師課程	
0%	7	(3.6%)	4	(4.9%)	2	(3.2%)	-	-
10%未満	10	(5.1%)	3	(3.7%)	17	(27.0%)	-	-
20%未満	68	(34.7%)	28	(34.6%)	29	(46.0%)	-	-
30%未満	85	(43.4%)	26	(32.1%)	13	(20.6%)	-	-
40%未満	22	(11.2%)	14	(17.3%)	2	(3.2%)	-	-
40%以上	4	(2.0%)	6	(7.4%)	0	(0.0%)	-	-
合計	196	(100.0%)	81	(100.0%)	63	(100.0%)	-	-
最高率	46.7 %		46.2 %		34.4 %		-	
最低率	0.0 %		0.0 %		0.0 %		-	
平均	20.8 %		22.2 %		14.8 %		-	

6. 医療機関就労生徒率(医療機関就労生徒/入学者)

(学校数)

	准看護師課程	
0%	15	(7.7%)
50%未満	51	(26.2%)
60%未満	26	(13.3%)
70%未満	28	(14.4%)
80%未満	29	(14.9%)
90%未満	28	(14.4%)
100%未満	14	(7.2%)
100%	4	(2.1%)
合計	195	(100.0%)
最高率	100.0 %	
最低率	0.0 %	
平均	56.5 %	

平成24年度 調査結果の概要

<2>平成23年度卒業状況

1. 卒業後の進路

平成23年度	卒業者数	看護職員として就業								進学				その他	
		医師会(管内)就業		医師会(管外)就業		県外就業				医療機関に就業中					
准看護師課程	8,826	4,292	(48.6%)	2,733	(31.0%)	1,188	(13.5%)	371	(4.2%)	4,074	(46.2%)	2,386	(27.0%)	460	(5.2%)
看護師2年課程	3,458	3,292	(95.2%)	1,850	(53.5%)	986	(28.5%)	456	(13.2%)	27	(0.8%)	2	(0.1%)	139	(4.0%)
看護師3年課程	2,363	2,220	(93.9%)	1,285	(54.4%)	669	(28.3%)	266	(11.3%)	50	(2.1%)	0	(0.0%)	93	(3.9%)
助産師課程	131	125	(95.4%)	60	(45.8%)	27	(20.6%)	38	(29.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	6	(4.6%)

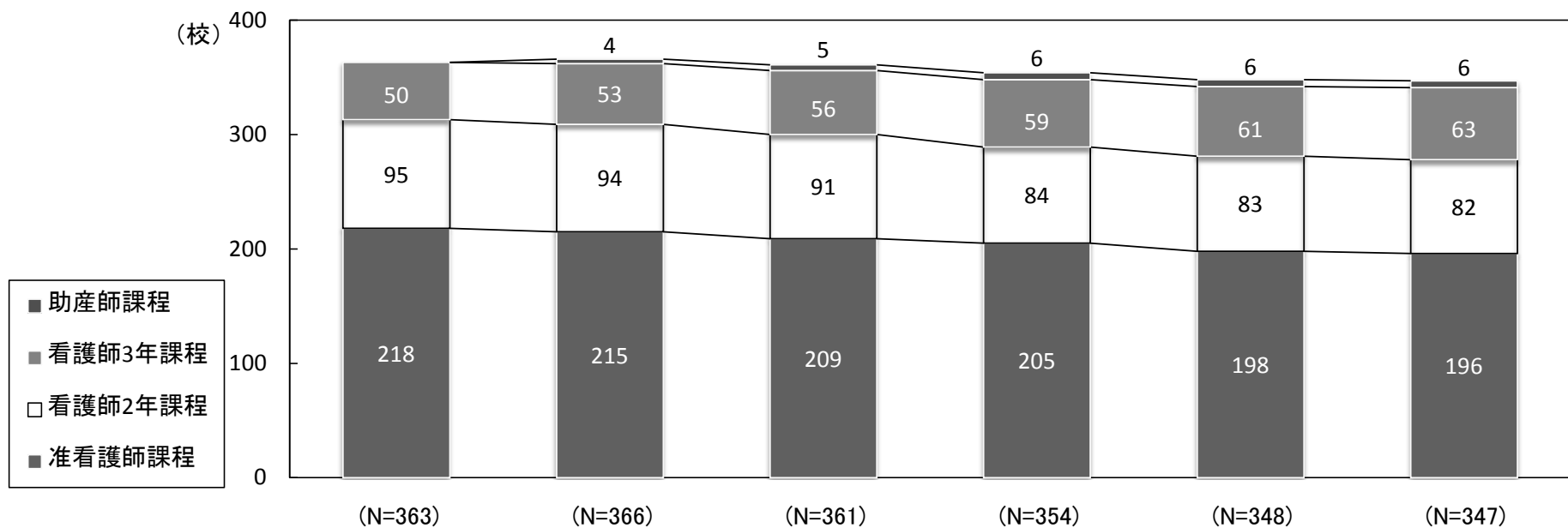
(人)

入学状況の経年変化

I. 学校数の推移

学校数の推移を見ると、准看護師課程、看護師2年課程では年々減少傾向となっている。一方で看護師3年課程は、毎年学校数が増え、平成24年度は63校となった。

1. 学校数の推移



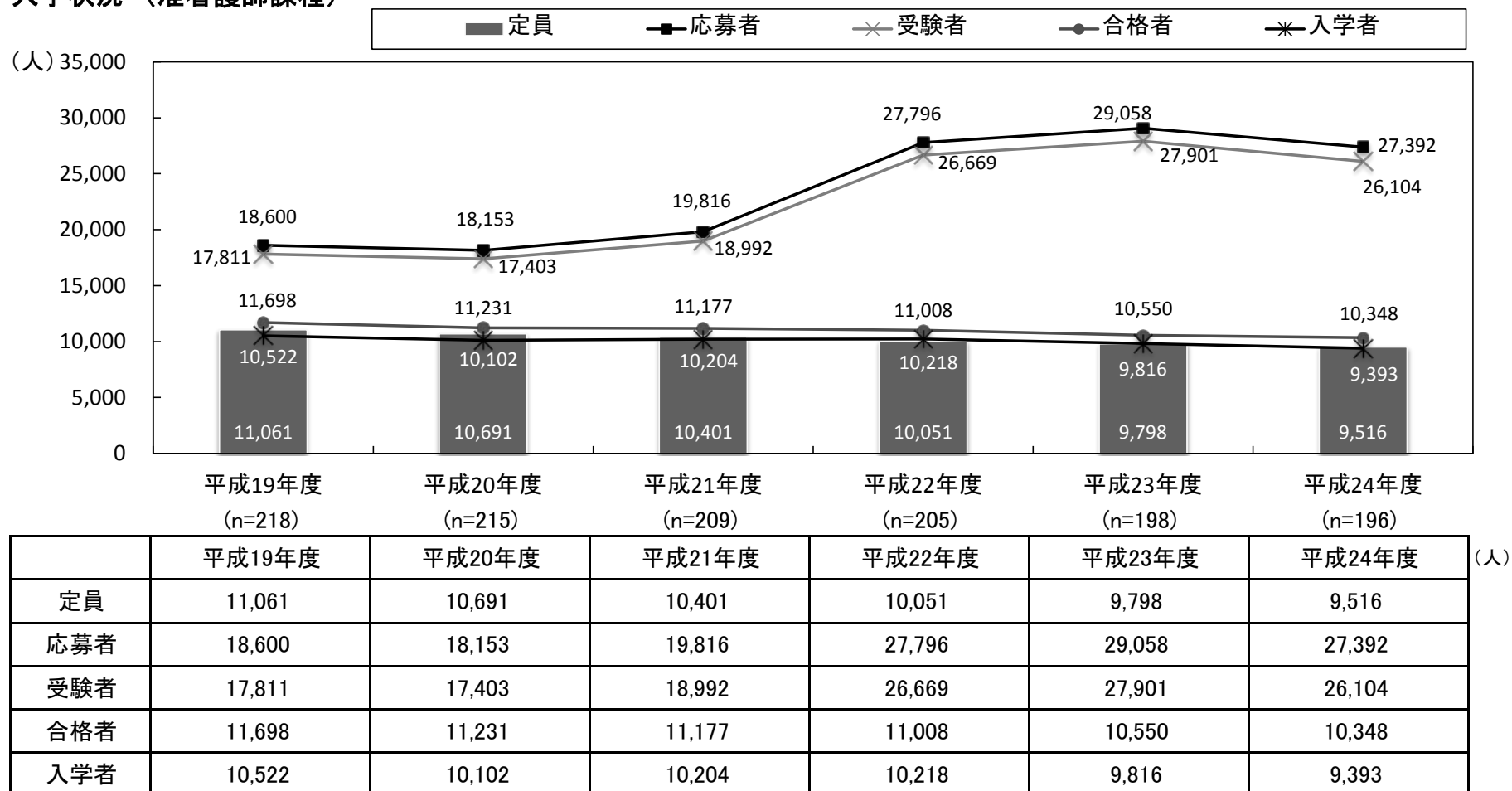
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	(校)
准看護師課程	218	215	209	205	198	196	
看護師2年課程	95	94	91	84	83	82	
看護師3年課程	50	53	56	59	61	63	
助産師課程	-	4	5	6	6	6	

*助産師課程については、平成20年度より調査開始

Ⅱ. 入学状況の推移

准看護師課程の入学状況を見ると、定員は毎年微減しているものの、応募者は平成21年度から増加傾向にある。平成22年度には約8,000人増の約27,800人と大幅に増加した。平成24年度は、昨年の約29,000人から約1700人減少したものの、平成22年度と同水準であった。

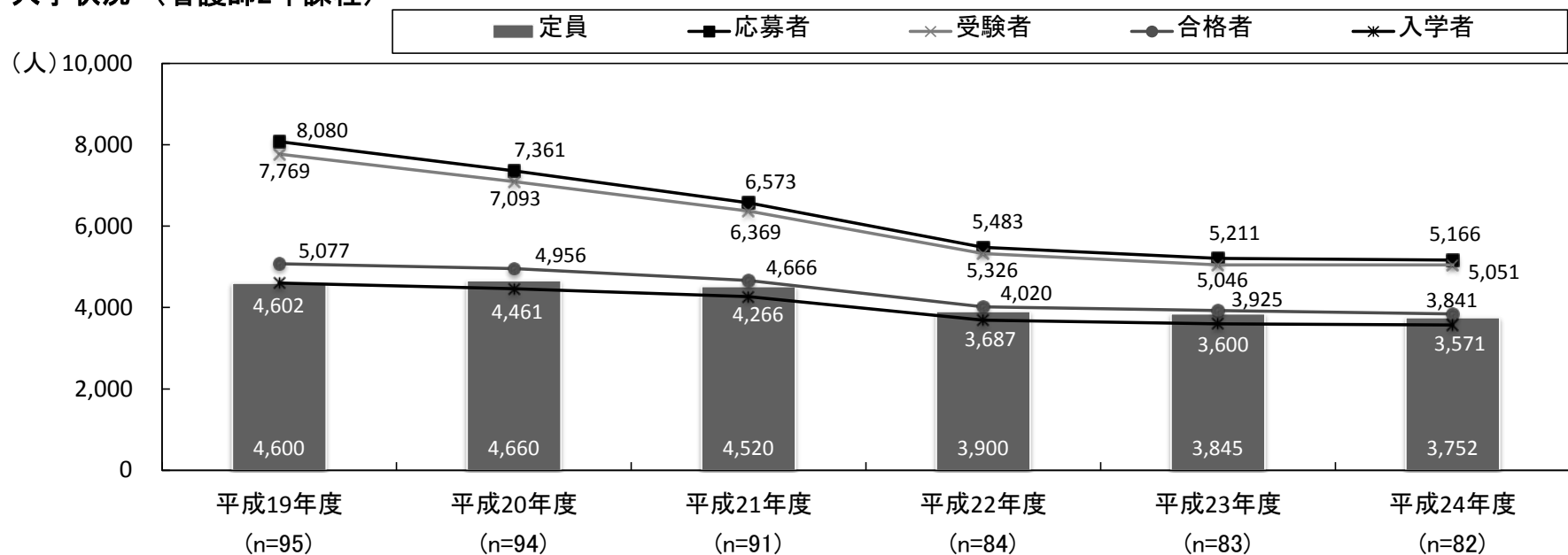
1. 入学状況（准看護師課程）



Ⅱ. 入学状況の推移

看護師2年課程の入学状況を5年前の平成19年度に比べると、減少幅は非常に大きく、応募者は約66%、定員は約82%、入学者は約78%の水準となっている。しかし、平成22年度以降はその減少傾向も緩やかになっている。

2. 入学状況（看護師2年課程）

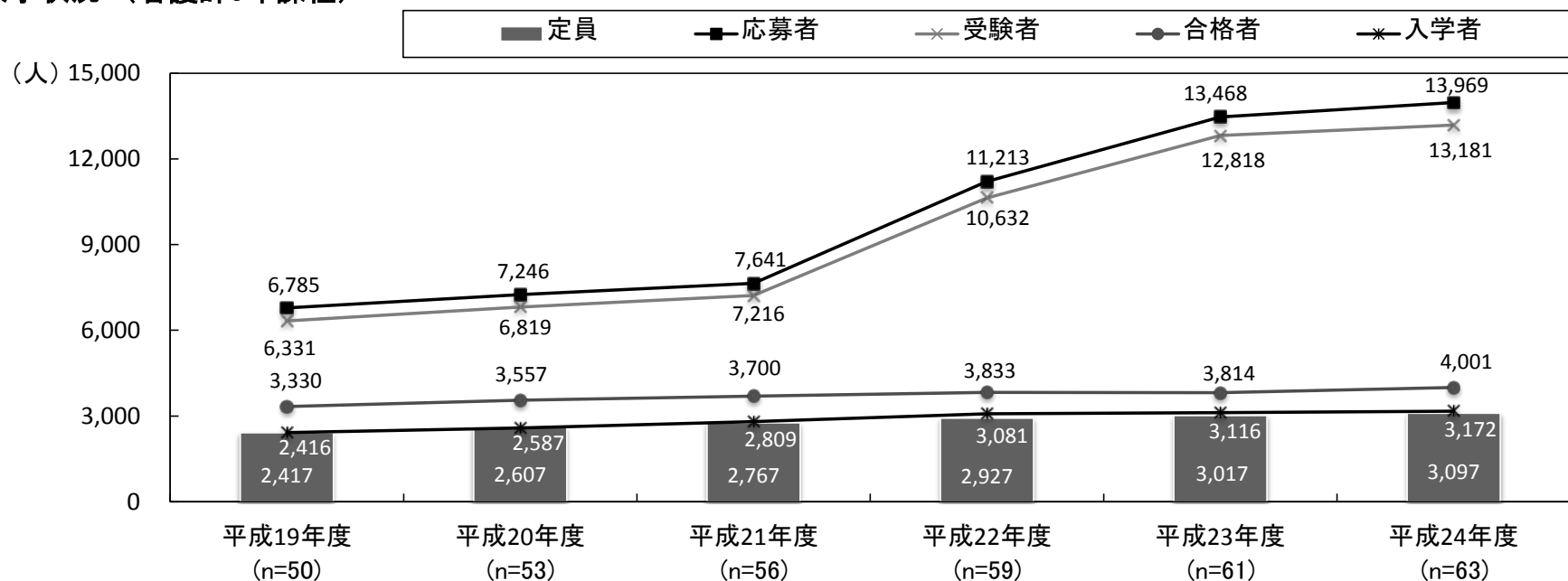


	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
定員	4,600	4,660	4,520	3,900	3,845	3,752
応募者	8,080	7,361	6,573	5,483	5,211	5,166
受験者	7,769	7,093	6,369	5,326	5,046	5,051
合格者	5,077	4,956	4,666	4,020	3,925	3,841
入学者	4,602	4,461	4,266	3,687	3,600	3,571

Ⅱ. 入学状況の推移

看護師3年課程は、学校数の増加に伴い入学者数は毎年増加している。応募者も、平成22年度以降大幅に増加しており、平成24年度は約14,000人となっている。

3. 入学状況（看護師3年課程）

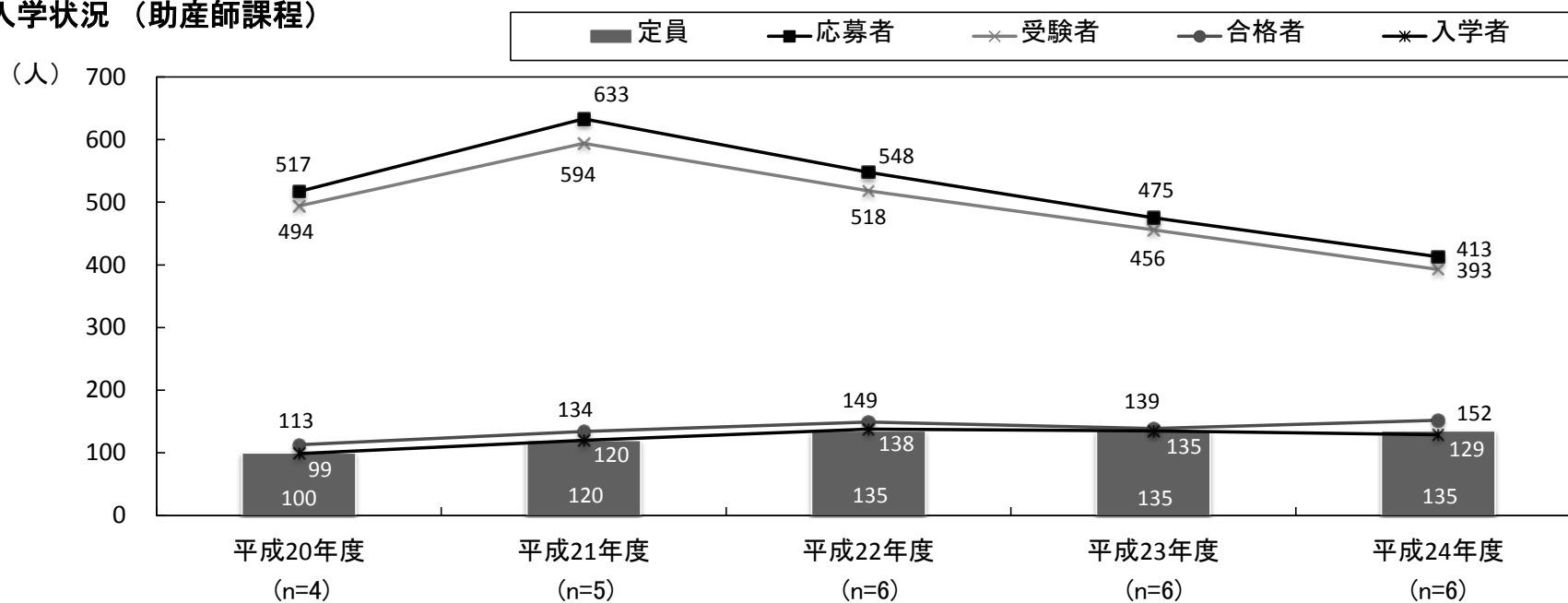


	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	(人)
定員	2,417	2,607	2,767	2,927	3,017	3,097	
応募者	6,785	7,246	7,641	11,213	13,468	13,969	
受験者	6,331	6,819	7,216	10,632	12,818	13,181	
合格者	3,330	3,557	3,700	3,833	3,814	4,001	
入学者	2,416	2,587	2,809	3,081	3,116	3,172	

Ⅱ. 入学状況の推移

助産師課程については、応募者、受験者は平成21年度から減少傾向にあるが、定員・入学者数から見ると十分に安定している。

4. 入学状況（助産師課程）

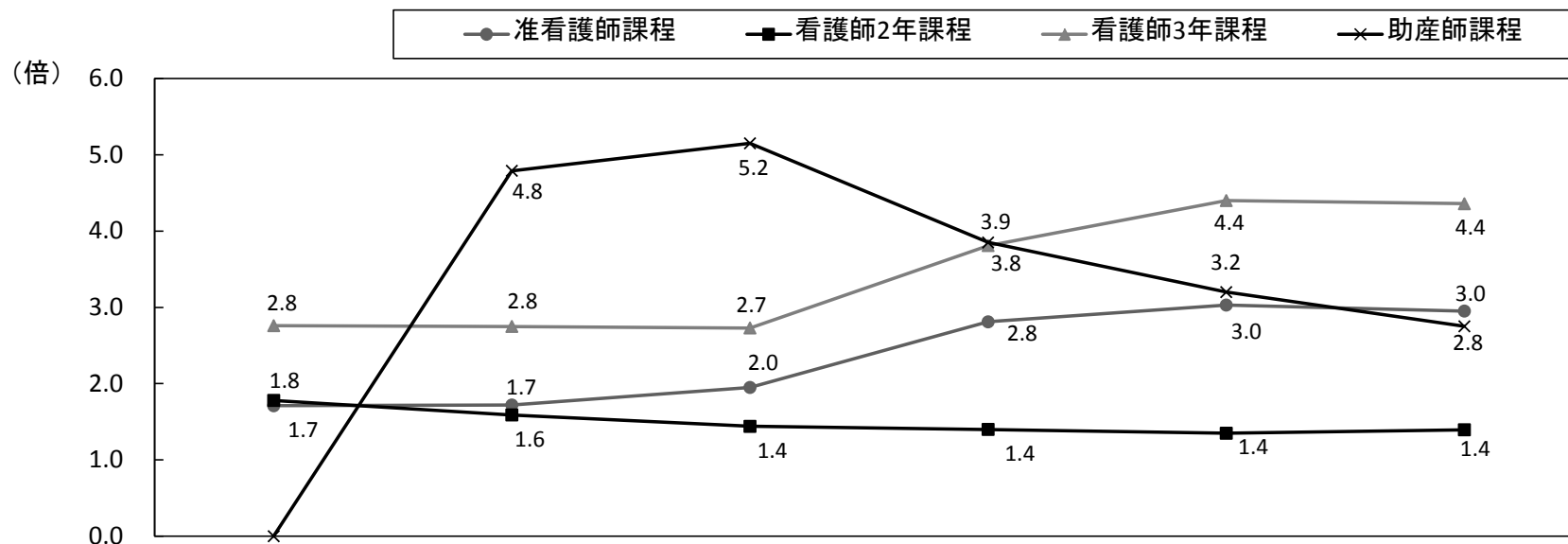


	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
定員	100	120	135	135	135
応募者	517	633	548	475	413
受験者	494	594	518	456	393
合格者	113	134	149	139	152
入学者	99	120	138	135	129

Ⅲ. 倍率の推移

定員に対する応募者数の倍率推移を課程ごとに示した。
 助産師課程の倍率は、昨年度から0.4ポイント低下し、2.8倍であった。一方、看護師3年課程と准看護師課程では、平成21年度から上昇傾向にあり、平成24年度は昨年度と同様に看護師3年課程は4.4倍、准看護師課程は3.0倍であった。看護師2年課程については低下傾向にあったが、平成21年度以降は横ばいとなっている。

1. 倍率の推移

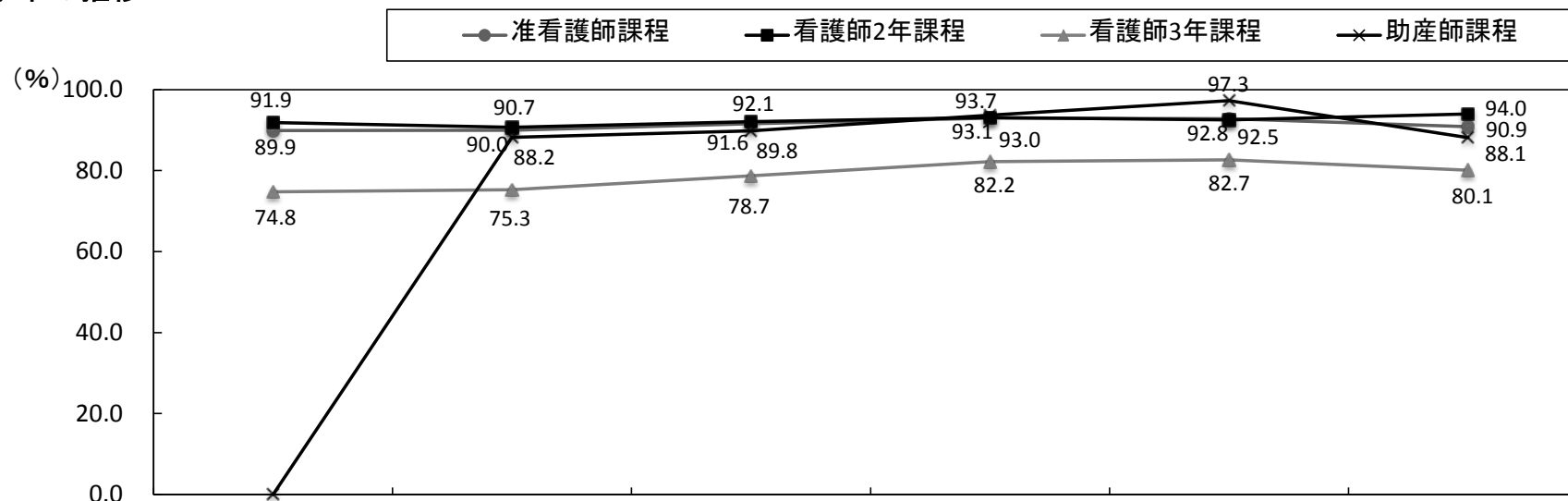


	平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		(倍)
	回答校数	倍率	回答校数	倍率	回答校数	倍率	回答校数	倍率	回答校数	倍率	回答校数	倍率	
准看護師課程	(n=218)	1.7	(n=215)	1.7	(n=209)	2.0	(n=205)	2.8	(n=198)	3.0	(n=196)	3.0	
看護師2年課程	(n=95)	1.8	(n=94)	1.6	(n=91)	1.4	(n=84)	1.4	(n=83)	1.4	(n=82)	1.4	
看護師3年課程	(n=50)	2.8	(n=53)	2.8	(n=56)	2.7	(n=59)	3.8	(n=61)	4.4	(n=63)	4.4	
助産師課程	-	-	(n=4)	4.8	(n=5)	5.2	(n=6)	3.9	(n=6)	3.2	(n=6)	2.8	

IV. 入学率の推移

入学率の推移を各課程ごとに比較した。准看護師課程・看護師2年課程・助産師課程については9割前後の入学率で推移している。一方看護師3年課程については、平成22年度以降8割を超えているが、他の課程と比較すると若干低めの水準で推移している。

1. 入学率の推移

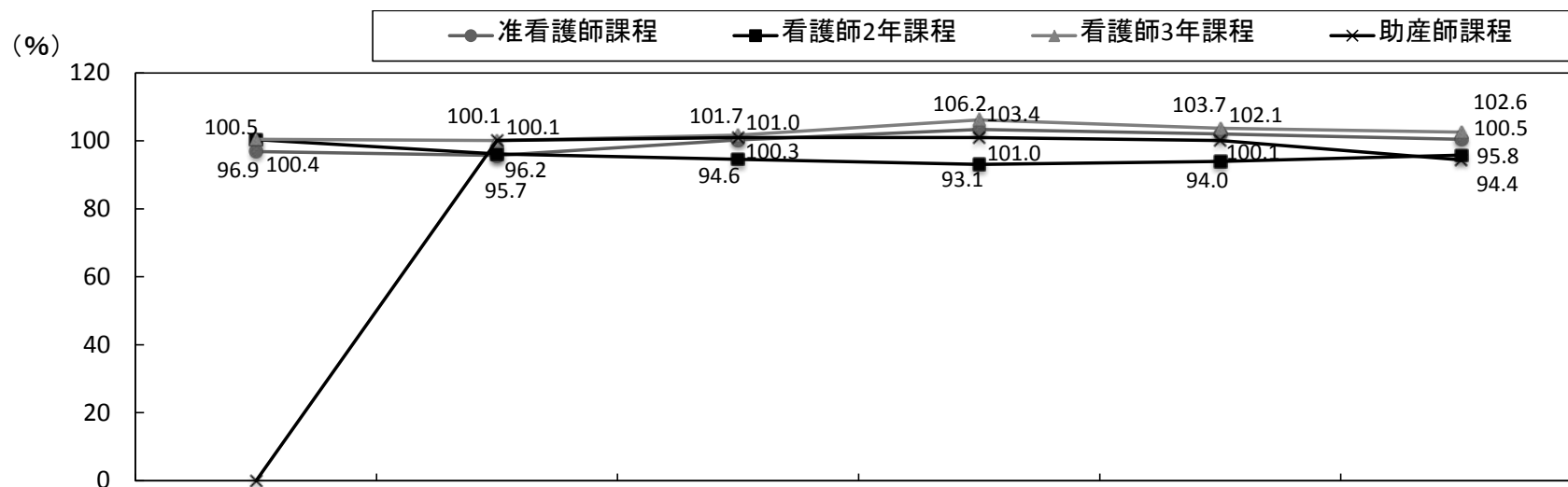


	平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	回答校数	入学率	回答校数	入学率	回答校数	入学率	回答校数	入学率	回答校数	入学率	回答校数	入学率
准看護師課程	(n=218)	89.9	(n=215)	90.0	(n=209)	91.6	(n=205)	93.0	(n=198)	92.8	(n=196)	90.9
看護師2年課程	(n=95)	91.9	(n=94)	90.7	(n=91)	92.1	(n=84)	93.1	(n=83)	92.5	(n=82)	94.0
看護師3年課程	(n=50)	74.8	(n=53)	75.3	(n=56)	78.7	(n=59)	82.2	(n=61)	82.7	(n=63)	80.1
助産師課程	-	-	(n=4)	88.2	(n=5)	89.8	(n=6)	93.7	(n=6)	97.3	(n=6)	88.1

V. 定員充足率の推移

定員充足率の推移を各課程別に比較したところ、看護師3年課程の充足率は100%を超え比較的安定している。一方、看護師2年課程は平成20年度以降100%を切っており、平成24年度は95.8%であった。また、助産師課程も今年度は初めて100%を下回る結果となった。

1. 定員充足率の推移



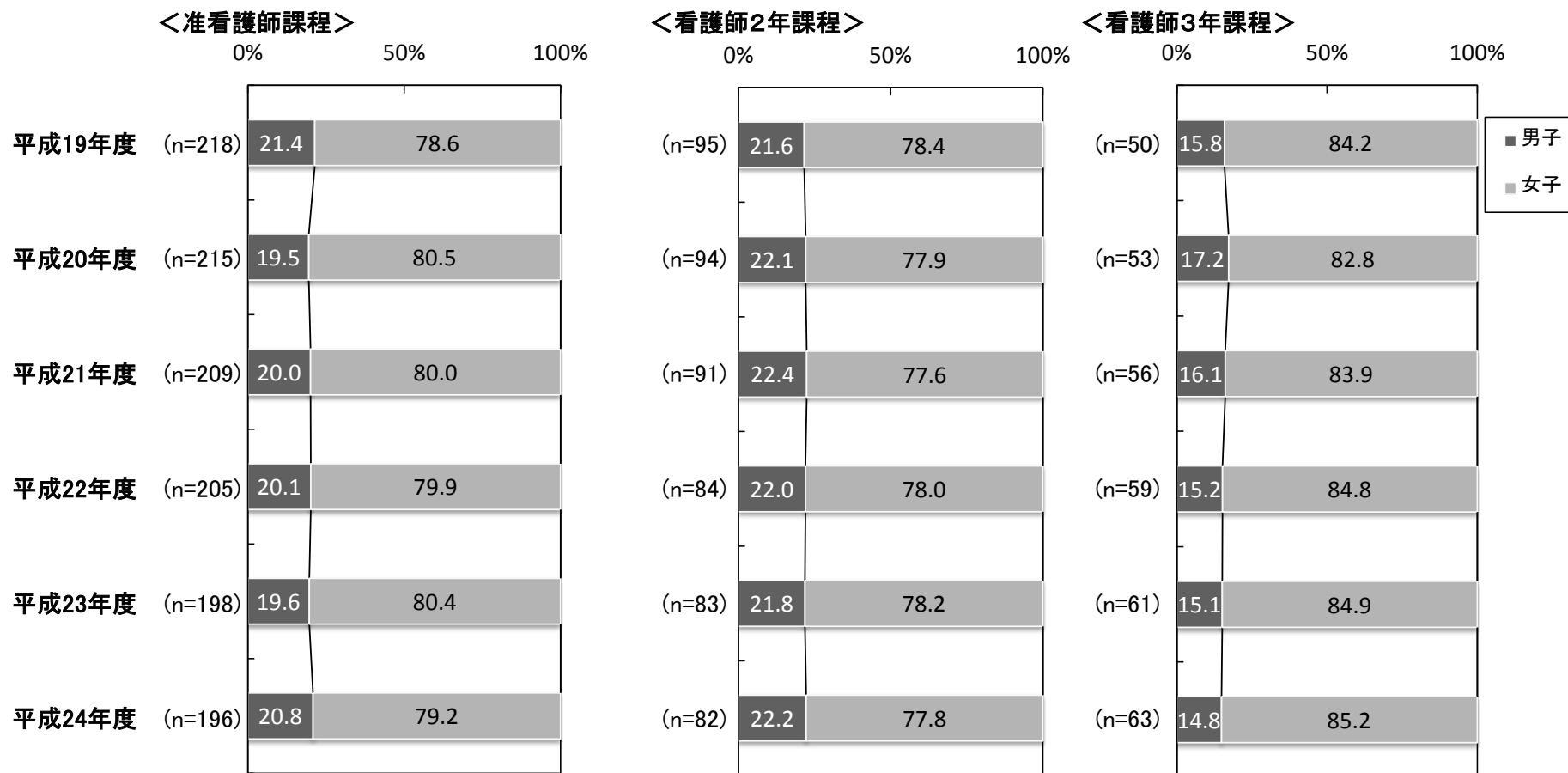
	平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度 (%)	
	回答校数	充足率	回答校数	充足率	回答校数	充足率	回答校数	充足率	回答校数	充足率	回答校数	充足率
准看護師課程	(n=218)	96.9	(n=215)	95.7	(n=209)	100.3	(n=205)	103.4	(n=198)	102.1	(n=196)	100.5
看護師2年課程	(n=95)	100.4	(n=94)	96.2	(n=91)	94.6	(n=84)	93.1	(n=83)	94.0	(n=82)	95.8
看護師3年課程	(n=50)	100.5	(n=53)	100.1	(n=56)	101.7	(n=59)	106.2	(n=61)	103.7	(n=63)	102.6
助産師課程	-	-	(n=53)	100.1	(n=5)	101.0	(n=5)	101.0	(n=6)	100.1	(n=6)	94.4

VI. 男子生徒率の推移

男子生徒率は、平成24年度はいずれの課程も、昨年度と同水準であった。看護師3年課程の男子生徒率は14.8%であり、准看護師課程(20.8%)、看護師2年課程(22.2%)に比べるとやや低い傾向にある。

1. 男子生徒率の推移

* 各校の平均比率(n=回答校数)

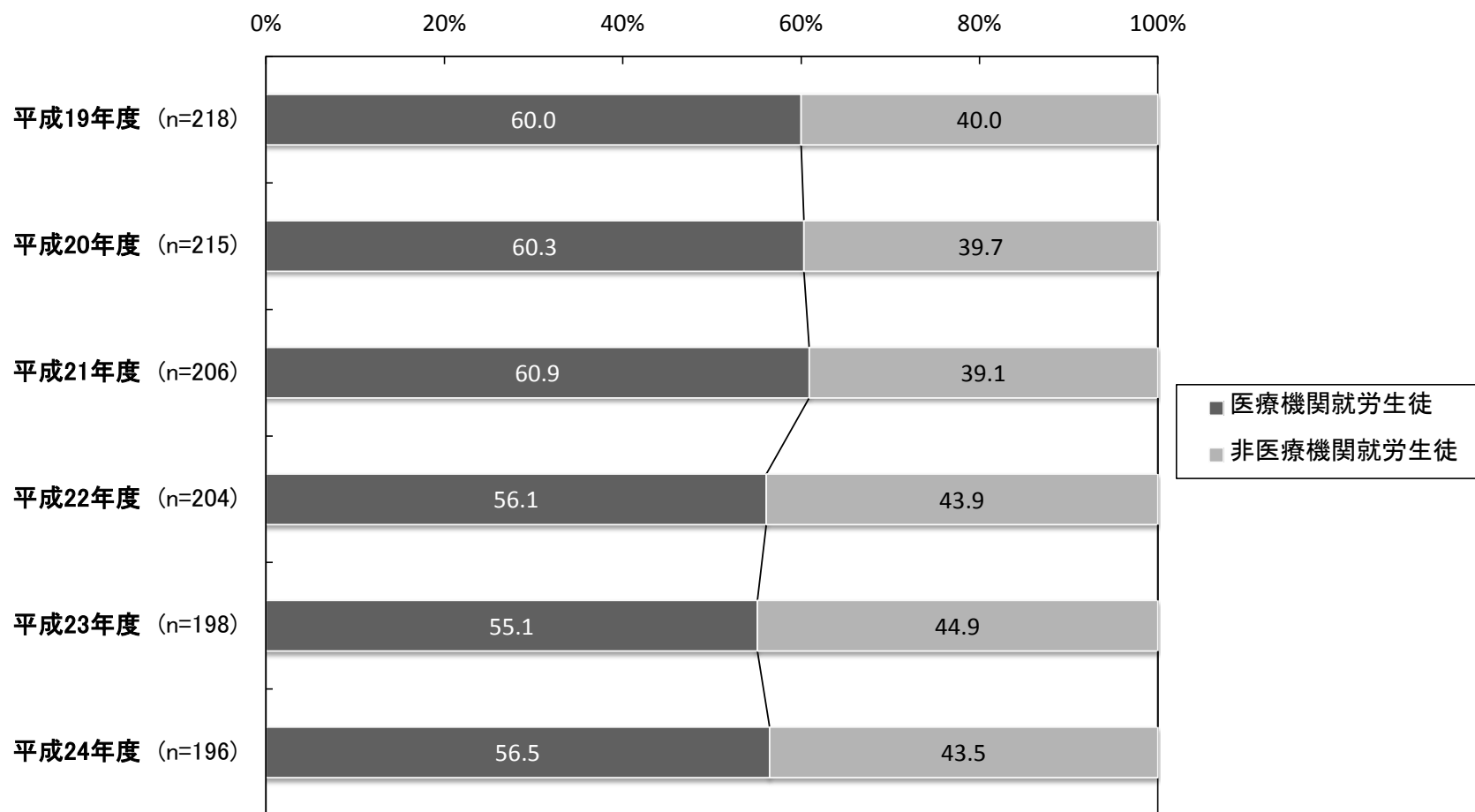


VII. 医療機関就労生徒率の推移

准看護師課程における医療機関就労生徒率は、6割程度で推移している。

1. 医療機関就労生徒率の推移（准看護師課程）

* 各校の平均比率(n=回答校数)

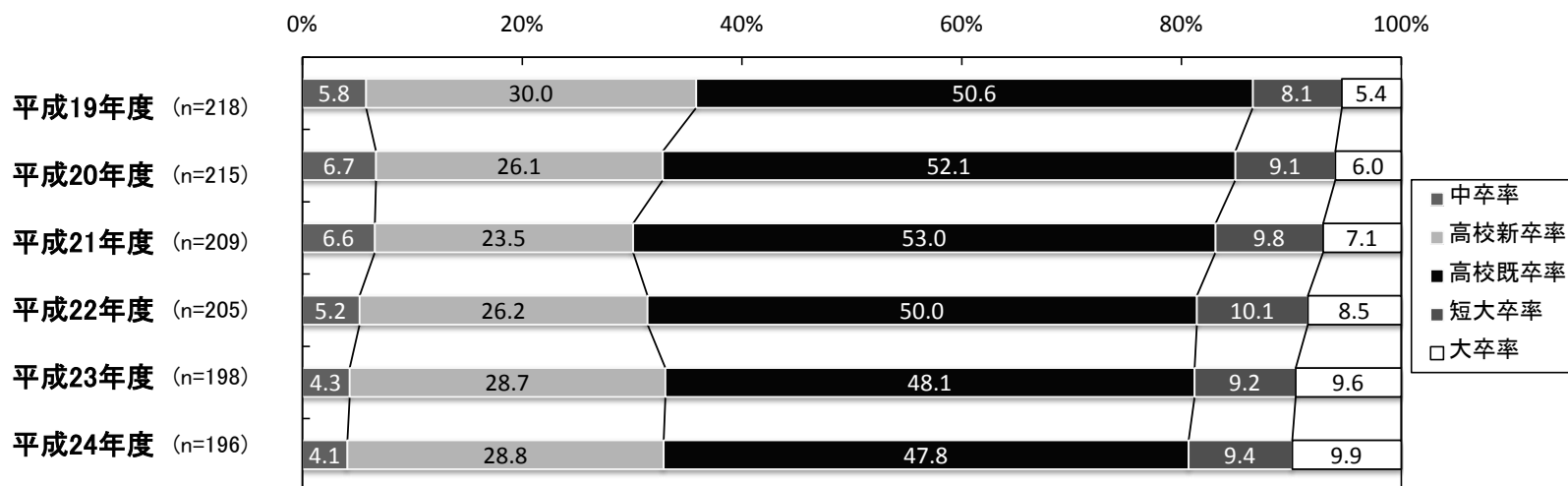


Ⅷ. 最終学歴の推移

准看護師課程の最終学歴の割合を見ると、「高校新卒」の割合が平成22年度以降やや増加しており、それに伴い「高校既卒」の割合はやや低下している。また「短大卒」・「大卒」は年々増加傾向にあり、平成24年度は短大卒と大卒をあわせると19.3%であった。

1. 最終学歴の割合（准看護師課程）

* 各校の平均比率 (n=回答校数)



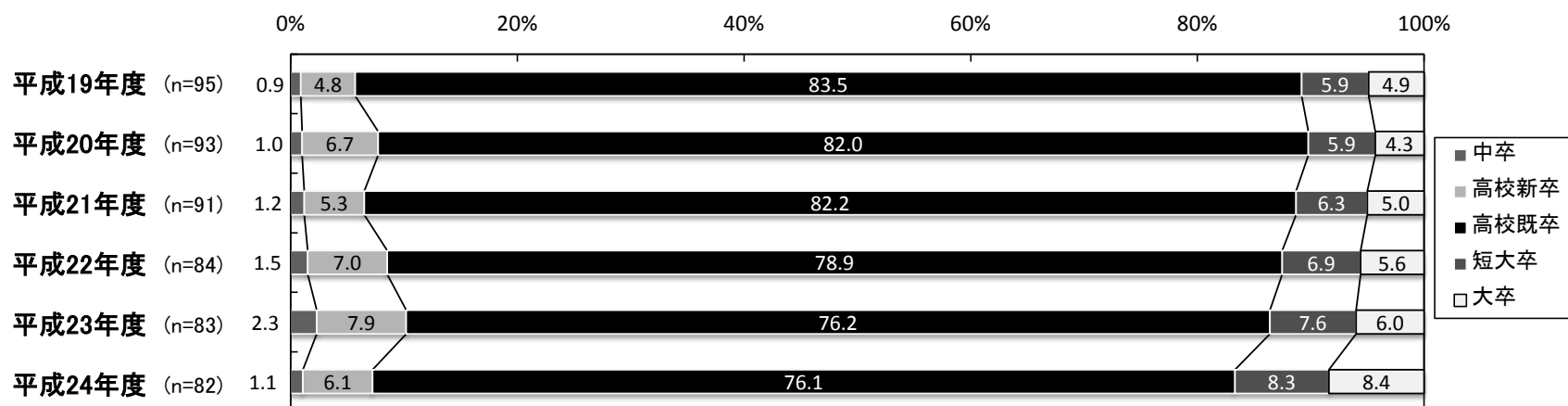
	回答校数	中卒		高校新卒	高校既卒	短大卒	大卒	(人)
		高校中退						
平成19年度	(n=218)	543	-	3,394	5,095	896	594	
平成20年度	(n=215)	633	-	2,828	5,095	913	633	
平成21年度	(n=209)	622	-	2,583	5,296	981	722	
平成22年度	(n=205)	484	-	2,860	4,963	1,024	887	
平成23年度	(n=198)	425	287	2,822	4,721	903	944	
平成24年度	(n=196)	384	230	2,704	4,487	885	933	

Ⅷ. 最終学歴の推移

看護師2年課程における最終学歴の割合は、他の割合の相対的上昇にともない「高校既卒」が76%とやや低下している。准看護師課程入学者の短大卒・大卒の割合が増加していることに伴って、2年課程におけるその割合も増加している。

2. 最終学歴の割合（看護師2年課程）

* 各校の平均比率 (n=回答校数)



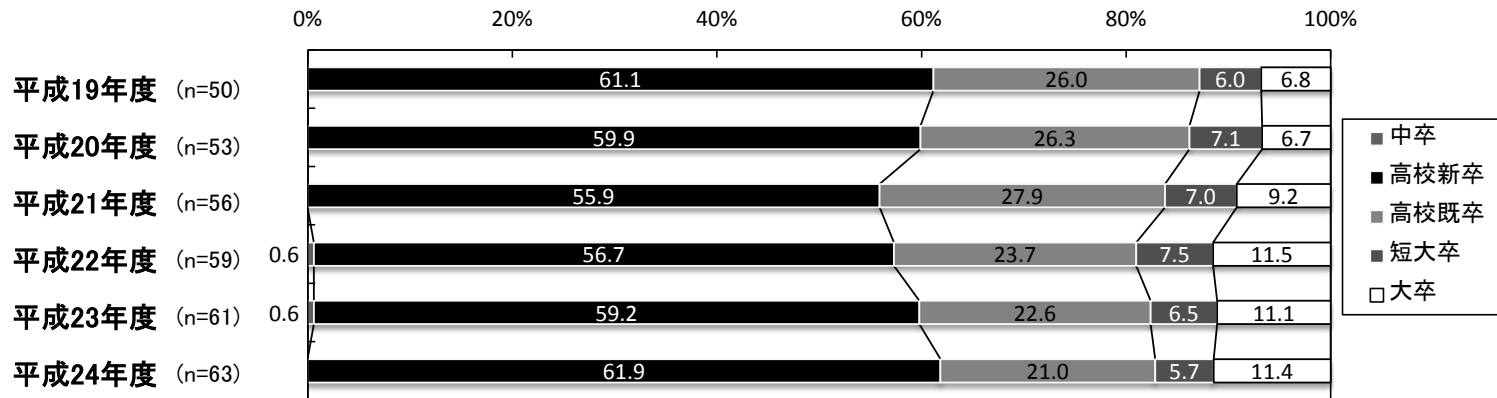
	回答校数	中卒		高校新卒	高校既卒	短大卒	大卒	(人)
		高校中退	高校既卒					
平成19年度	(n=95)	53	-	203	3,850	269	227	
平成20年度	(n=94)	65	-	293	3,653	261	189	
平成21年度	(n=91)	59	-	211	3,513	265	218	
平成22年度	(n=84)	56	-	275	2,888	253	215	
平成23年度	(n=83)	81	35	281	2,749	273	216	
平成24年度	(n=82)	39	13	219	2,717	296	300	

Ⅷ. 最終学歴の推移

看護師3年課程における最終学歴の割合は、減少傾向にあった「高校新卒」が、平成22年度以降は少しずつ増加し、平成24年度は61.9%であった。一方「高校既卒」の割合はやや低下し、平成24年度は21%にとどまった。また短大卒・大卒は、合計で17.1%であった。

3. 最終学歴の割合（看護師3年課程）

* 各校の平均比率(n=回答校数)



	回答校数	中卒	高校新卒	高校既卒	短大卒	大卒	(人)
平成19年度	(n=50)	-	1,488	620	144	164	
平成20年度	(n=53)	-	1,549	684	176	178	
平成21年度	(n=56)	-	1,560	794	201	254	
平成22年度	(n=59)	19	1,747	729	232	354	
平成23年度	(n=61)	19	1,869	677	202	349	
平成24年度	(n=63)	-	1,962	666	181	363	

*大検合格者は高校既卒にカウントしている。(平成22~23年度は中卒にカウントした。)

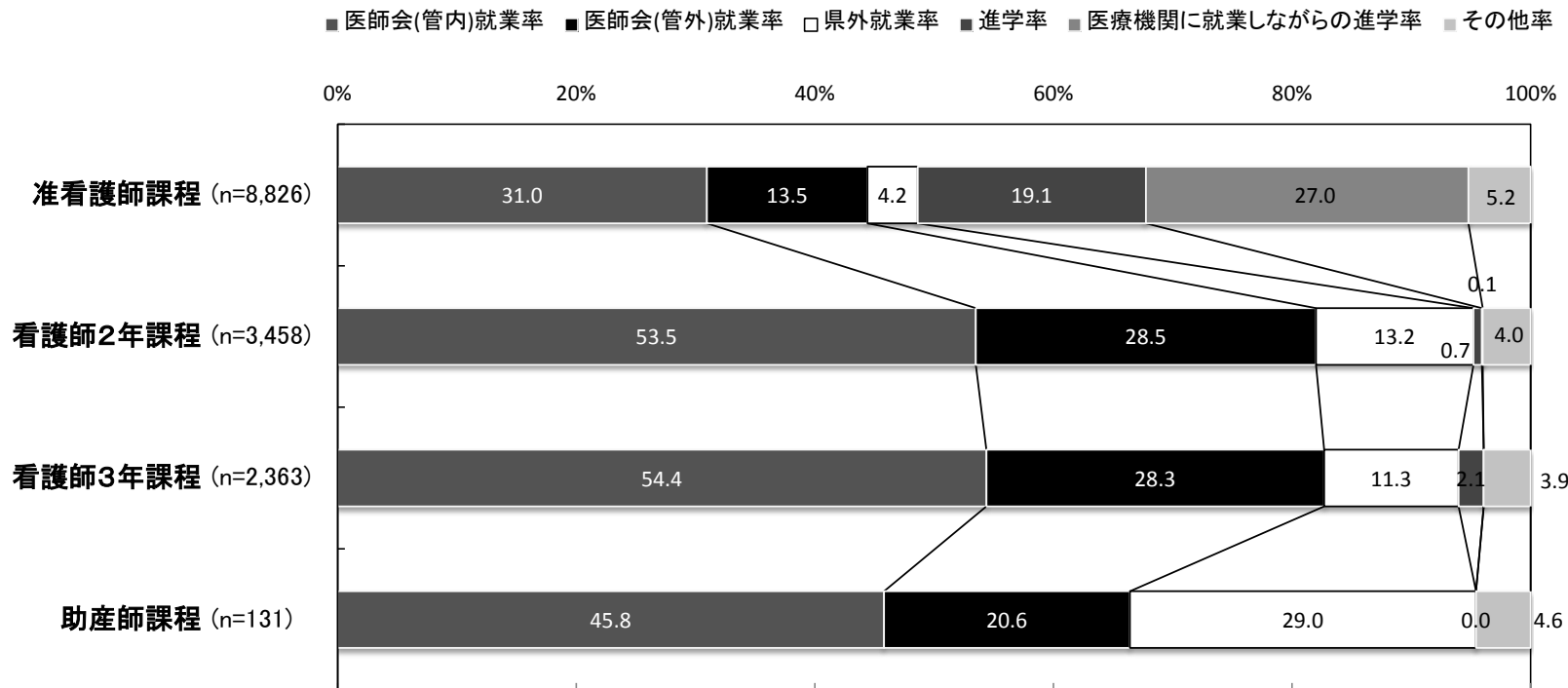
Ⅸ. 卒業後の進路

卒業後の進路を課程別にみると、准看護師課程は進学率が他の課程と比較して高く46.1%にのぼるが、そのうち27%は医療機関に就業しながらの進学であり、全体で7割が就業していることになる。

看護師2年課程、看護師3年課程の就業先は、医師会(管内)が5割を超え、次いで医師会(管外)、県外の順となっている。助産師課程は、他の課程と比べて県外就業率が高く、平成24年度は3割にのぼった(昨年度は2割)。

1. 卒業後の進路

* 各校の平均比率 (n=卒業生数)



まとめ

1. 入学状況

<准看護師課程>

- ・ 応募者は昨年度に比べ減少(約2万9千人⇒約2万7千人)したものの(P9)、倍率は、過去最高だった昨年度と同様3.0倍であった(P13)。
- ・ 入学者の最終学歴の割合は、高校既卒が47.8と最も多いが、高校新卒も28.8%と平成21年度から増加傾向にある。短大・大卒も年々増加しており、今年度は合計19.3%であった。(P18)。

<看護師2年課程>

- ・ 看護師2年課程については、准看護師学校養成所減少の影響もあり、減少傾向にある(P8)。
- ・ 定員充足率(入学者／定員)を見ると、平成20年度から100%を切り、今年度も95.8%にとどまった(P15)。
- ・ 応募者の減少は、業務経験10年以上を有する准看護師が、通信制に入学しているケースや、進学せずに准看護師として地域医療の現場で活躍していることが考えられる。また、不況のあおりを受けて、進学を諦めているケースも考えられる。

<看護師3年課程>

- ・ 看護師3年課程は、毎年学校数が増加している(P8)。応募者も昨年に引き続き増加しており(約1万4千人)、倍率も昨年度と同じく4.4倍と高かった(P13)。
- ・ 3年課程で特徴的なのは、入学率(入学者／合格者)が他の課程に比べて低いことである(P14)。合格しても、大学や、学費の安い公立校へ流れていることが考えられる。
- ・ 最終学歴の割合を見ると、これまで減少傾向にあった高校新卒の割合が、昨年度から増加している(61.9%)。短大・大卒者の割合は、合計17.1%であった(P20)。

<助産師課程>

- ・ 助産師課程の応募者は、平成22年度から、やや減少傾向が見られる(P12)。

まとめ

2. 卒業状況 (P 2 1)

<准看護師課程>

- ・ 准看護師課程の県内(医師会管内+医師会管外)就業率は44.5%であった。進学(進学+医療機関に就業しながら進学)が46.1%と高いが、進学者の半数以上は医療機関に就業しており、約7割の方が地域医療を支えていることがわかる。

<看護師2年課程>

- ・ 看護師2年課程は、卒業生の82%が県内(医師会管内+医師会管外)に就業している。年度が異なるため単純な比較はできないが、平成23年度の全国の2年課程学校養成所の県内就業率(県内就業者数/卒業者数)は67%となっており、医師会立養成所卒業生の県内就業率は高いと言える。

<看護師3年課程>

- ・ 看護師3年課程の県内(医師会管内+医師会管外)就業率は82.7%であった。年度が異なるため単純な比較はできないが、平成23年度の全国の3年課程学校養成所の県内就業率は77.6%であり、2年課程と同様に医師会立養成所卒業生の県内就業率は高いと言える。看護系大学卒業者のうち「看護師として就業」した者の「県内就業」率は、平成23年度59.3%であった。

※ 全国、大学の県内就業率は「看護関係統計資料集」を基に算出

<助産師課程>

- ・ 助産師課程については、他の課程に比べて県外就業率が29%と高く、昨年度(20%)と比較しても大きく増加した。助産師課程は学校養成所が少ないため(参考:平成23年3月に卒業生を出した学校数は76校(大学を除く))、医師会立の学校養成所は、県外からの学生も含めて、貴重な養成の場となっていることが窺える。

3. まとめ

- ・ 昨年度に引き続き、今年度も准看護師課程や看護師3年課程は高倍率であった。看護職員を目指す人が増えていることは、非常に歓迎すべきことである。
- ・ 県内就業率の高さ等から、医師会立養成所が、地域の看護職員確保に多大な役割を果たしていることが、改めて示された。
- ・ 厚生労働省の第7次看護職員需給見通しにおいては、平成24年末で51,500人の不足が見込まれている。より一層の養给力の強化、離職防止、再就業支援が図られなければならない中で、一部地域において准看護師の養成を停止しようとする動きがあることは非常に遺憾である。
本来、国民の生命・健康を守るために必要な看護職員の確保は国が責任を持って行うべきものであるが、地域の医療提供体制を守るため、医師会が看護職員を養成している。厚生労働省においては補助金の増額や各種規則の柔軟な運用等により養成を支援することが必要である。